

〈作文事業部〉

1 活動方針

- ・「生徒の書く意欲」を喚起することを目指す。
- ・「横浜市民みんなの作文コンクール」という意識がもてるような、運営・審査を心がける。
- ・横浜市立中学校国語科担当者の作文指導の成果を試す場として活用してもらう。

2 活動計画

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 4月10日 (水) | 新旧運営委員会にて年間事業計画の提案 |
| 5月8日 (水) | 総会にて事業計画の承認、購入分の代金受領 |
| 6月 | 「ともしび」第62号」私費運営委員の選出・確認 |
| | 各区教科研究会等で審査運営委員の選出・確認 |
| | 審査運営委員名簿作成 (担当文種の決定) |
| 7月1日 (月) | 作文コンクール第一次案内の送付 |
| 9月2日 (月) | 作文コンクール第二次案内の送付 |
| 9月 | 応募作品回収の確認資料配付 各校にて第一次審査 |

- | | |
|------------|--------------------------|
| 10月9日 (水) | 応募作品提出 |
| 10月16日 (水) | 第二次審査会 (第一回審査運営委員会) |
| 11月13日 (水) | 最終審査会 (第二回審査運営委員会) |
| 11月 | ・入賞作品の決定 |
| 12月下旬 | 審査結果報告、「ともしび」原稿入力依頼・集約 |
| 1月 | 作文コンクール表彰式 (場所未定) |
| 2月 | 「ともしび」編集・「ともしび」第63号」購入予約 |
| 3月上旬 | 「ともしび」発注・購入書類発送 |
| | 「ともしび」完成、各校配布 |
| | 平成25年度の反省と来年度への提案 |

3 審査方法

各区から2名審査運営委員 (原則として1名は理事) を出していただき、事業部とともに審査する。担当文種を区でローテーションさせる。

4 表彰式

昨年度は12月26日に吉野町市民プラザを会場に実施した。今年度も抽選となる。

5 作文集「ともしび」

佳作までの入賞作品をすべて掲載する。